

シリーズ第二回

# バイデン政権の科学技術イノベーション政策 ーScience Integrityの視点ー

2022.2.10(木) 20:00~21:30

無料 [定員 500人]

Zoomにて開催

<https://www.scirex-openforum.info/>

## シリーズ第二回概要

医療高等計画局(ARPA-H)の設立構想や米国国立科学財団(NSF)の拡大など、バイデン政権への交代以降、米国の科学技術イノベーション政策はダイナミックに変わりつつあります。気候変動やパンデミックといったグローバルな課題への対応を主導する一方で、中国の科学技術力の急成長へ対応すべくエマージング・テクノロジーなど機微な技術をどのように管理していくべきか議論されています。

本セッションでは、米国内務省の科学アドバイザーや全米科学振興協会(AAAS)の科学外交センターディレクターを務めた、米国科学アカデミーのVaughan Turekian政策・国際部門エグゼクティブディレクターをお招きし、現在の米国のSTI政策の概要をご紹介します。特に、エビデンスに基づいた決定や政策の重要性に焦点を置いたScientific Integrityについてタスクフォースがバイデン政権発足以来の議論をまとめた報告書についてお話いただきます。

また、日本での研究公正について政治の場で主導的な立場にある大野敬太郎 内閣府副大臣をお招きし、日米がいかに協働しSTI政策を進めていくことができるのか、今後の展望について議論します。

## スピーカー



## Dr. Vaughan Turekian

(ヴォーン・トゥレキアン)

米国科学アカデミー  
政策・国際部門エグゼクティブディレクター

## コメンテータ



## 大野 敬太郎 氏

内閣府副大臣(経済安全保障・防災等担当)、  
衆議院議員

## モデレーター



## 角南 篤 氏

政策研究大学院大学 SciREXセンター  
センター長

# SciREXオープンフォーラム2022

## 政策科学の新たな挑戦 ー第6期科学技術イノベーション基本計画の実効性の確保に向けてー

### 全体概要

2021年、日本の科学技術イノベーション政策は、新しいスタートをきりました。

昨年3月に閣議決定された第6期科学技術・イノベーション基本計画では、Society5.0の未来社会像として「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会」を掲げています。

また、その実現に向けては、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた「総合知」による社会変革と、知・人への投資の好循環を起こしていくこととしています。学際研究の推進や若手研究人材の育成については繰り返し議論がなされてきましたが、これまでの成果に加え、今後何に取り組むことが求められているのでしょうか。日本の科学技術力の再生とグローバルな視点も含めた社会課題への貢献に向けて、新たに挑戦すべき課題はどこにあるのでしょうか。

本フォーラムでは、目指す未来社会に対し、科学技術イノベーション政策の科学がどのように貢献できるのか、共に考えていきます。

### スケジュール

2022年2月3日(木)	19:00~20:30	東京大学
第1回	第6期科学技術・イノベーション基本計画を支える宇宙技術	
2022年2月10日(木)	20:00~21:30	GRIPS
第2回	バイデン政権の科学技術イノベーション政策ーScience Integrityの視点ー	
2022年3月7日(月)	18:30~20:00	GRIPS
第3回	「持続可能な社会システム実現のための科学技術イノベーション政策をどう設計していくか~アフターコロナ時代に向けて~」	
2022年3月15日(火)	18:30~20:00	GRIPS
第4回	「研究力強化への処方箋を実効性あるものとするために」	

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO等マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、多様な方々のご参加をお待ちしております。